

【日本スポーツ協会】予防拡大ガイドライン/チェックリスト参照

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（イベントの受付場所等）に掲示すること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	本紙面をもってチェックリストとする。体育館入り口に掲示。

- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	役員割り振りを行い、定期的に巡回・確認。

- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮すること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
臨機応変に対応	臨機応変に対応。参加申し込みの段階で報告を受け、個別に対応していく。

- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	同意書の提出を義務付け、保管。

- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	大会前にガイドライン、チェックリストを自治体の衛生局に提出し、事前に相談。事後に報告をする。

スポーツイベント参加募集時の対応

主催者が参加者に求める感染拡大防止のための措置としては、以下のものが挙げられます。

□ 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求めること（イベント当日に書面で確認を行う）

- 体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	参加申込後に同意書を郵送し、当日入場前に提出することを義務づける。

□ マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要な人だけの着用。	試合の時以外は、マスク着用を義務付ける。（ウォーミングアップ時も着用）

□ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
体育館に常備されている範囲で実施。	会場内数か所、手洗い場などに手指消毒設置する。

□ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ 2 m 以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
会場に入り、ウォーミングアップ、練習など。試合でコートに入り試合。勝者は観客席へ戻り、敗者は審判から結果を受け取り、進行席へ。新しい対戦表を受け取り、次の審判をする。	会場に入り、周囲の人との距離を確保してウォーミングアップ（会場練習はできません）。試合でコートに入り、 A 選手 VS B 選手 の試合時は、 A 選手が練習相手と 5 分間練習。その後 B 選手が練習相手と 5 分間練習。 朝の会場練習ありに変更。試合前の 5 分間練習をなしにします。 その後試合開始。審判は結果を記入し、台上において観客席へ。敗者はその場にとどまり、次の試合の審判をするため対戦表を待つ。勝者は結果の記入された対戦表を確認し、進行席近くの所定の場所に結果を置いてくる。練習時間の確保は初戦のみで、 2 回戦が A 選手 VS C 選手（C 選手は 2 回戦スタート） となった場合、 5 分間の練習は C 選手のみとなる。

□ イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	応援は拍手のみ。観客席に複数個所表示。

□ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
主催者判断に基本的に従っていただく	「本チェックリスト及び、日本卓球協会のガイドラインを読み、遵守すること」を同意書にて確認する。

□ イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
主催者判断に基本的に従っていただく	「本チェックリスト及び、日本卓球協会のガイドラインを読み、遵守すること」を同意書にて確認する。

※ 会場内における濃厚接触者とは、手で触れることのできる距離（目安として1メートル）で、必要な感染予防策なしで、「患者（確定例）」と15分以上の接触があった者（周辺環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する）
（国立感染症研究所感染症疫学センター参考）

当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
体育館に常備されている範囲で実施。	会場内数か所、手洗い場などに手指消毒設置する。

- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
主催者判断に基本的に従っていただく	「ガイドラインを読み、遵守すること」を同意書にて確認する。

- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
受付時。試合前後の握手。結果を進行に提出時など。	対面する場面を作らない。受付は資料を机の上においておき、それぞれ参加者が持っていく。試合前後の握手はなし。結果を進行にもっていくについては、「他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2 m以上）を確保する。」に記載の通り。

- 参加者が距離をおいて並べるように目印の設置等を行うこと

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	並ぶ場面を作らない。適時周囲の人との距離をあけるよう声がけ。

- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	スタッフ全員に義務づける。

- インターネットやスマートフォンを使った電子的な受付の一層の普及を図り、受付場所での書面の記入や現金の授受等を避けるようにすること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
参加メ切前までに振込	受付時の資料の中に、振り込み書を同封。棄権については参加料を集めず。振込後の控えにて領収書とする。

当日の受付のほか、イベント前日の受付を行い混雑を極力避けること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	広く机などを利用して資料を置いておく。時間帯を区切り、放送後に取りに行くよう声がけ。

参加者から以下の事項を記載した書面の提出を求めること

- 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取扱いに十分注意する
- 利用当日の体温
- 利用前2週間に於ける以下の事項の有無 平熱を超える発熱（おおむね37度5分以上）
- 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
- だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	参加申込後に同意書を郵送し、当日入場前に提出することを義務づける。

スポーツイベント参加者への対応

マスク等の準備

- 参加者がマスクを準備しているか確認すること
- 参加の受付、着替え、表彰式等の運動・スポーツを行っていない間については、マスクの着用を求めること（運動・スポーツ中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	十分な数を準備しておく。マスク着用に対する放送による呼びかけ、適時巡回で声がけ。原則試合中以外はマスク着用。（ウォーミングアップ時も着用）

スポーツイベント参加前後の留意事項

- イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること
- 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	大会前後のミーティングや懇親会などは行わないよう、会話時にはマスク着用を放送にて声がけ。

イベント主催者が準備すべき事項の対応

手洗い場所

- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- マラソンイベント等では、始点、休憩所、終点にできるだけ手洗い場を確保すること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を必要に応じて用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
体育館に常備されている範囲で実施。	会場内数か所、手洗い場などに手指消毒やペーパータオルの設置、「手洗いは30秒以上」等の掲示について、施設側と相談して準備する。

更衣室、休憩・待機スペース

- 広さにはゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること（障がい者の介助を行う場合を除く）
- ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること

- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
- 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- スタッフが使用する際は、入退室の前後に手洗いをする

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	大会参加申し込み締め切りを一ヶ月前とし、参加者の人数（引率者を含む）を確認。その上で同意書を郵送し、観客数の制限を行う（同意書が入場券となる）。入場人数は体育館観客席数の半分程度が好ましい。また、消毒や換気については、スタッフで1～2時間に1回以上行う。

洗面所

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意すること（参加者にマイタオルの持参を求めても良い。布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにすること）

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
体育館に常備されている範囲で実施。	会場内数か所、手洗い場などに手指消毒やペーパータオルの設置、「手洗いは30秒以上」等の掲示について、施設側と相談して準備する。役員で消毒作業を行う。

飲食物の提供時

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
提供しない	提供しない

観客の管理

- 観客も参加させる場合には、観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること
- 大声での声援を送らないことや会話を控えること
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	観客席の数を半分程度とし、「大声での応援を行わない」と表示を複数箇所表示する。同意書にマスク着用等の留意事項を明記し、提出を義務付ける。

□ スポーツイベント会場

- スポーツイベントを室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
- 換気設備を適切に運転すること
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
適時換気を行う	1～2時間に1回以上換気を行う

□ ゴミの廃棄

- 鼻水、唾液などが付いたごみは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること
- マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
ゴミは持ち帰りをお願い	ゴミは持ち帰りを義務付ける

参加者が遵守すべき事項

- 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる（利用当日に書面で確認を行う）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを持参すること（参加受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること（障がい者の誘導や介助を行う場合を除く）
- イベント中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと
- イベント終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- イベントの前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要なし	参加申込後に同意書を郵送し、当日入場前に提出することを義務づける。

参加者が運動・スポーツを行う際の留意点

- 十分な距離の確保
 - 運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離（※）を空けること（介助者や誘導者の必要な場合を除く）
 - 強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること
 - 水泳時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意をする必要があること（※）感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けることが適当である。
- 位置取り:走る・歩くイベントにおいては、前の人の呼気の影響を避けるため、可能であれば前後一直線に並ぶのではなく、並走する、あるいは斜め後方に位置取ること
- 運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- 同じトング等での大皿での取り分けや回し飲みはしないこと
- 飲みきれなかったスポーツドリンク等を指定場所以外（例えば走路上）に捨てないこと

ガイドライン前	ガイドライン後（練習試合用対策）
必要に応じて各自が判断	「本チェックリスト及び、日本卓球協会のガイドラインを読み、遵守すること」を同意書にて確認する。